

# 広島市植物公園 見どころ案内

2023年8月20日  
通巻第593号

今週の  
見どころ案内  
掲載植物  
現場にはこの表示  
がしてあります。

8月末まで、サマーフェア開催中

**展示会のご案内**

- ◇展示資料館 (6/17~9/18)  
特別企画展「牧野富太郎と広島」  
+体験コーナー
- ◇展示温室 (8/19~8/27)  
変化朝顔展
- ◇大テント前、  
スイレン温室など (7/8~9/24)  
盛夏のスイレン展

## ミソハギ (ミソハギ科)

牧野日本植物図鑑には、「襖萩 (ミソギハギ) の略であるといわれ、溝 (みぞ) にはえるハギとするのは誤り」という牧野博士の見解が記されています。学名は牧野博士がつけた *Lythrum anceps* (Koehne) Makino。

## サイジョウコウホネ

(スイレン科)

東広島市の西条盆地で初めて見つかри、報告された水生植物。コウホネとベニオグラコウホネの雑種。

## ビワモドキ

(ビワモドキ科)

東南アジア原産。別名はゾウのリンゴ。インドでは実をカレーの具や調味料 (チャツネ) に用い、大きな葉はビワに似ています。

## ヤマモモソウ

(アカバナ科)

アメリカ原産の多年草。花の形から別名は「白鳥草」。近くでは、サボンソウ、ハナスベリヒユ、センニチコウ、ワタなども花盛り。

## サガリバナ

(サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯のマンग्रoup植物。花は夜に咲き、翌朝には落花します。曇天時には午前中まで花が残っていることも。

## ヒマワリの丘

約 1,400 株のヒマワリ“サンフィニティ”が見頃。小ぶりで可愛らしい花が丘一面に咲いています。

## ニンジンボク (シソ科)

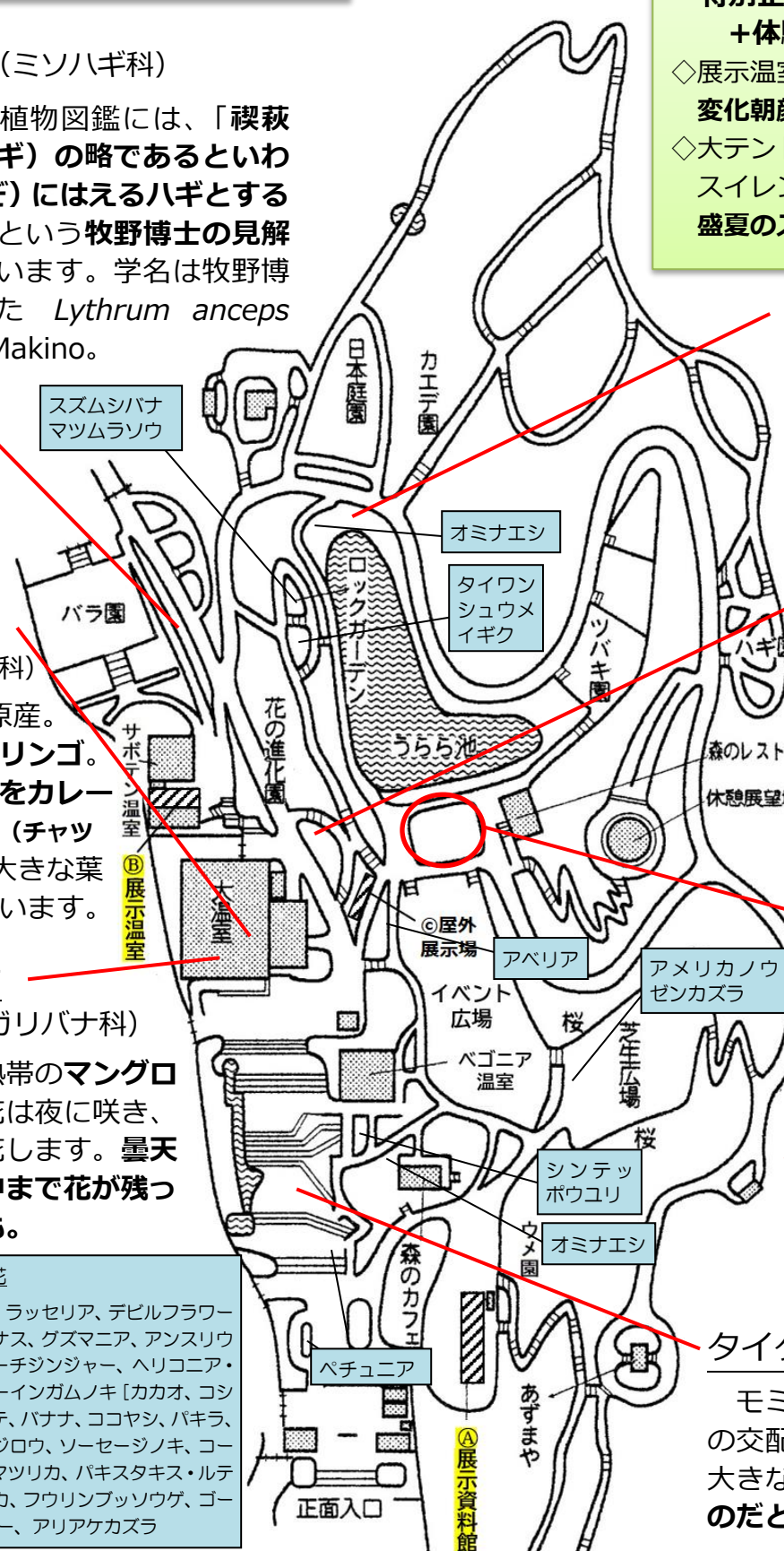
中国原産の薬用植物。葉が朝鮮人参の葉に似ていることから、「人参木」。

## タイタンビカス (アオイ科)

モミジアオイとアメリカフヨウの交配種で白、赤、ピンクなどの大きな花を咲かせます。大きなものだと 25cm もの花が咲きます。

### ★大温室で見頃の花

(赤花) サガリバナ、ラッセリア、デビルフラワー (シマ) サンゴアナナス、グスマニア、アンズリウム、洋ラン各種、トーチジンジャー、ハリコニア・ロストラータ、チューインガムノキ [カカオ、コシヨウ、ホワイトサボテ、バナナ、ココヤシ、パキラ、レンブ、テリハバシロウ、ソーセージノキ、コーヒー (以上は実)]、マツリカ、パキスタキス・ルテア、ニオイサンタンカ、フウリンブッソウゲ、ゴールデンチェーンツリー、アリアケカズラ



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀  
❀ 8/22、9/9、9/26 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀